

11月定例山行（豊中労山交流登山）

11月23日（日）

～24日（月） 臥竜山・掛頭山（1223・1126m）・他



参加者 合計 18 人（他豊中労山 19 名）

総指揮：松尾、窓口：功野、永谷

若木、白川、円山、小寺、熊野、鬼武、熊谷修、上別祖、村田、三重成  
石倉、滝、小林、三村、入江

コースタイム

23日：広島駅 7:15⇒戸河内 IC（8:12 豊中合流、道の駅）⇒八幡高原千町原 9:30→  
雪霊水 11:00→臥竜頂上（11:05－11:20）→掛頭頂上（12:30 昼食 13:20）→  
土草峠 14:05→県境尾根雲耕分岐-引き返し点 16:00→県道 16:35⇒  
城岩山荘 16:50（宿泊）

24日：城岩山荘（午前中交流）

研修室でミーティング（8:30～11:30）昼食（12:10～13:00）

城岩山荘（13:10 出発）⇒筒賀大銀杏観察 14:20⇒戸河内 IC 14:30⇒

中国および山陽道経由 ⇒15:20 広島駅（解散）

○

23日、Tさん1名、集合場所を間違えていたため、新幹線口より県庁北経由で一昨年と同じ合流場所、道の駅来夢戸河内へ向かった。ここで豊中グループと無事の顔を確認した。

今年、豊中労山パーティのリーダーは久しぶりに副会長の佐々木さんである。来年三月の定年を前に、すでに仕事はリタイア状態とのことで暫くは充電期間を設けるとのお話である。やまぼうしも既往のリタイア組に加え、Nさんをはじめとして同様の人が漸次増えるであろう。

9時30分登山を開始、1.5時間で雪霊水の林道終点に出る。大腸菌の話題もあったが気にせず一部の人は水を補給して頂上に向かう。写真他、小休止をとって掛頭山に向かう。猿木峠を越えると林道に出て、一輪のリンドウを見る。写真を撮り登山道に入る。正午を30分過ぎて頂上に着き昼食を摂る。早く暗くなる時期なので13時20分には出発して大佐山に向かう。土草峠で林道に出る。急ぎ県境尾根ルートへ出るべく登りにかかる。16時30分までには大佐山頂上に着いておきたいと少し焦り

つつ、江戸時代の国境尾根を歩く。雲耕からの道の合流点に着いたとき、15時30分であった。疲れの出た人、日暮れの時刻等を考えて雲耕へのルートを下ることとなった。大勢の場合、変更決定が直ぐになされ難い。今回も人数の分散と各パーティのリーダーを決めておき、協議の場・方法等を明確にしておくべきだったように思う。

とまれ大佐山の頂は踏めなかったが勉強材料を与えてくれた。

宿には予定時間くらいについて風呂と夕食で疲れを癒した。今夜は、我々交流会メンバー以外の宿泊は無いとのことで夕食後、気兼ね無く、歌を中心とした交流会を楽しんだ。

24日、予定を変えて大佐山に登りたいとの意見もあったが例年の交流を大事にしようということで研修室でのラフなミーティングを行った。豊中サイドでは、大気汚染の環境問題にここ数年来、取り組んでいるとのことで感心させられる。

今回やまぼうし側では主催者として、いろんな意味で準備不足であり熱意ある人たちの次回の新展開を期待したい。

(記 功野勝)



懇親会の一コマ



環境問題について勉強会